クリシュナの名前		
サンスクリット名	読み方	意味・解説
クリシュナ	Kṛṣṇa	「黒い（肌の色）」「魅了する者」。主神としての総称。
マーダヴァ	Mādhava	「マドゥの子孫」「甘美なる者」「春の神」。ヴィシュヌの系譜を示す。
ケーシャヴァ（グダ―ケーシャ）	Keśava	「髪の美しい者」「悪を滅ぼす者（ケーシーを倒した者）」。
ゴーヴィンダ	Govinda	「牛の守り主」「感覚（インドリヤ）を喜ばせる者」。
アーチュタ	Acyuta	「揺るがぬ者」「決して堕ちない者」。神の永遠性を示す。
マーダヴァ	Mādhava	「知恵に満ちた者」「甘露のような存在」。春や豊かさの象徴でもある。
ジャーナルダナ	Jānārdana	「人々を守る者」「悪を滅ぼす者」。
ヴァースデーヴァ	Vāsudeva	「ヴァスデーヴァの息子」「至高の存在」。クリシュナの本質的名前。
ハリ	Hari	「取り去る者（苦を除く者）」。ヴィシュヌの一般的異名。
プルショッタマ	Puruṣottama	「最高の人（至高の霊魂）」。
ヨーゲーシュヴァラ	Yogeśvara	「ヨーガの主」「神秘の力を自在に操る者」。
パルタサーラティ	Pārthasārathi	「パールタ（アルジュナ）の御者」。ギーターでは重要な役割。
ハリ	Hari	「罪を取り去る者」「輝く者」。
アディデーヴァ	Adideva	「最初の神」「根源の神性」。
バガヴァーン	Bhagavān	「至上主」「6つの保持者」。聖典では神の普遍的呼称。
マーヤイン	Māyin	「マーヤ（幻影）の使い手」。宇宙の幻を自在に動かす者。
イーシュヴァラ	Īśvara	「支配者」「主権を持つ者」。